

# 一般質問通告書

【第65回定例会】

多可町議会議員 河崎 一 様  
多可町議会議員 廣畑 幸子



受 領 日	番号
平成27年 9月 7日 午前・午後 8 時 30分	4

質問の項目及び要旨	答弁を求める者
1 「楮」「ラベンダー」の育成を広めよう	町長
別紙に記載	
2 磁気誘導ループをもっと活用しよう。	町長
別紙に記載	
3	

## 質 問 の 内 容

1 多可町には素晴らしい特色がたくさんありますが、その中の一つ「杉原紙」についてお聞きします。

この「杉原紙」ですが、皆さんもご存じの通り歴史は古く、いろいろなところで使われています。以前開かれました、ユニバーシアード神戸大会の時や国民体育大会（国体）の兵庫県大会に、杉原紙の賞状を使って頂きました。地元では、町内の小学校・中学校・高等学校で、卒業証書に杉原紙を使って頂いています。小学6年生たちに至っては、自分たちで漉いた世界に一つしかない卒業証書を作り、大切な宝物として大事にしています。

杉原紙の材料は「楮」です。以前は、町外からも材料を購入し、杉原紙を漉いていました。しかし、杉原紙を町内産の楮を使って作ろうと、町民にお願いし、一戸一株運動をすすめました。今では集落で取り組んで頂いている所もあり、ほぼ町内産の楮で紙すきができでおり、色も白く仕上がると喜んで頂いています。

しかし、材料の「楮」ですが、26年度には天候のかげんか原木料で25年度より3割減の状態でした。長年の経験から、ストックも置いていますが、もし、減産が続くと杉原紙作成に支障を来すこととなります。

今は加美区での「楮」栽培が主ですが、中区や八千代区の皆さんにもご協力を仰いではいかがでしょうか。ご興味のある方・したいなとお思いの方はきっといらっしやると思います。住民の皆さんに応援して頂くためにも、「楮」栽培を広めてはどうでしょうか。

また、「ラベンダー」栽培の応援者も集めるべきではないでしょうか。

「ラベンダー」は認知症予防に効果があることは皆さんもご存じのとおりです。今後ますます上がっていく高齢化率。同じことなら、元気で生き生き、自分のしたいことができる暮ら続けたいのは誰もが望むことです。

ラベンダーパークでは、オイルの抽出機を新しく購入しました。多可町産のラベンダーオイルがたくさんできると、住民の皆さんや、お客様に購入してもらいやすくなります。たくさん使って頂ければ、元気な人が増えます。なんと素晴らしいことでしょうか。

「楮」も「ラベンダー」も生き物です。今日植えたからといってすぐに収穫できるものではありません。動くなれば少しでも早く動くべきです。

2 「磁気誘導ループ」というのは、聴覚障害者用の補聴器を補助する放送設備のことです。磁気を発生させるワイヤーを輪のように這わせることから、通称「磁気ループ」と呼ばれていますが、国際的には「ヒヤリングループ」という名称になっています。この磁気誘導ループですが、補聴器に直接音声を送り込むための機材です。磁気を発生させるだけなので、対応する受診機材がなければ活用できませんが、難聴の方、お年を召して聞こえにくくなっている方には、頼もしいものです。

今回、多可町にあると言うことを聞き調べてみました。ベルディーホールには開館当時から準備してありました。アスパルにも、床の絨毯下に設置してありました。最近では、町にも加美ライオンズクラブから寄贈もされています。

しかし、周知・活用となると、どうでしょうか。

以前大山議員が25年9月議会で「磁気誘導ループ」の一般質問をされました。その時の答弁は、「その活用について存在や効果を研究し、住民への周知を含め、有効活用を進めます。」というものでした。けれど、住民への周知や有効活用は進んでいるのでしょうか。

「せっかく寄贈したのに、使われているようなこと聞かないけどどうなんやろう。」や、「そんなんあるんですか。」などと言う言葉が返ってくると、宝の持ち腐れではないのかと思います。いかがでしょうか。

以上2点です。